

人材育成委員会

10月11日
本部会議室
出席委員等7人

若手経営者4人が登壇

マネカレ・パネルディスカッション

第7回遊技産業マネジメント・カレッジ（11月21・22日、晴海グラウンドホテル）とばちんこ産業合同説明会（12月7日、東京ビッグサイト）の内容を詰めた。

マネジメントカレッジはメインテーマが「業界の未来を描こう！」。それに沿ってグループディスカッションは、①ばちんこ産業だから出来る社会への貢献 ②

力を入れるべき獲得ユーザーとその対策——のテーマで行なわれる。ディスカッションは1グループ6人、10グループに分かれて2日間行なわれ、最後にプレゼン大会で審査し、優秀グループを表彰する。

前回までと違う点は、審査は結論だけでなく考えていくプロセスも対象にすること、表彰では金賞、銀賞に加えて銅賞を新設すること。

また、今回は特別講師の講演はなく、グループディスカッション終了後に、若手経営者によるパネルディスカッションを企画している。パネラーには大泉秀治（株）オーイズミ副社長）、岸野誠人（東和産業（株）副社長）、栢森秀行（ダイコク電機（株）社長）、深谷太詞（フシミコーポレーション（株）常務取締役）の4氏が予定され、若手経営者目線で「業界の可能性」について意見を述べてもらう。

また、今回は特別講師の講演はなく、グループディスカッション終了後に、若手経営者によるパネルディスカッションを企画している。パネラーには大泉秀治（株）オーイズミ副社長）、岸野誠人（東和産業（株）副社長）、栢森秀行（ダイコク電機（株）社長）、深谷太詞（フシミコーポレーション（株）常務取締役）の4氏が予定され、若手経営者目線で「業界の可能性」について意見を述べてもらう。

ばちんこ産業合同説明会については、WEBのコンテンツ強化案が紹介され、応援人員（講演者、呼び込み等）を打ち合わせた。

北海道「健全営業推進セミナー」

講演と展示に831人「庄司会長が「危機」強調



一杯に埋まったセミナー会場

北海道の「健全営業推進セミナー12013」が10月8日、札幌市の札幌コンベンションセンターで開催された。日遊協北海道支部と札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の共催で、ゴト犯罪対策のため4回日の開催となった。ホール関係を中心に、セミナー会場、展示会場合わせて831人が参加し、

講演に聴き入り、ブース展示を楽しんだ。

セミナー第一部では、パチンコ評論家のボンベイ吉田氏が「あなたのお店ができる事〜景気回復時に必要な3ステップ」と題して講演した。第二部では、北海道警察本部生活安全部保安課の渡部泰光課長補佐が「ばちんこ営業の健全化について」と題して講話を行い、(有)ジャパン・セキュリティ・サービスの高石隆一代表取締役が「ゴト犯罪に負けない、札幌共同戦線

九州支部9・9クリーンデー

2013.9.9
第1回クリーンデー大掃除の日
ご多数様のご参加、ご協力ありがとうございました。

クリーンDAY
活動報告!!!

【実施箇所】	233	【活動人員】	1,796人
【回収ゴミの量】	5,055Kg		

九州地区を中心に、福岡・熊本地区でも実施されました。第1回クリーンデー大掃除の日、ご多数様にご参加いただき、皆様のご協力により実施されました。ご参加ありがとうございました。回収されたゴミの量が報告されました。皆様のご参加とご協力のおかげで、クリーンデーの活動が全国へ広がりました。

九州支部では「パチンコが日本をキレイにします。まずは九州から」をテーマに、毎月9日を「地域清掃の日（クリーンデー）」と決め、各店舗の周辺で清掃活動を行っているが、9が重なる9月9日、「第1回クリーンデー大掃除の日」として九州全体を対象に活動を実施した。この日は九遊連（各県遊協）、九遊商、回胴遊商九州支部の協力を得て、1796人が参加し、233か所計5トン強のゴミを回収した。同支部では活動結果をポスター（右写真）にし、会員ホール等に掲示してお客様にもアピールした。

「ラーメン屋さんの前を清掃していたら、『ラーメン一杯ただで食べ



2013」についてスピーチした。

来賓として出席した日遊協・庄司孝輝会長があいさつに立ち「ファン」の減少は重大な問題である。1000万人を切る危機であり、一時的にやめた方を再度ホールに呼び戻すことが大切だ。日遊協は〈産業活性化プロジェクト〉を起こし、羽根物を中心として遊技機の再活性化を研究し、全日遊連、日工組とともに協議を続けている。今後さらに産業全体としての取り組みにしていきたい」と強調した。

ブース展示会場では、指定商社、業界関連企業など47社が出展し、見学者で賑わいアンケートなども実施された。授産施設(障害者雇用)の製品を販売する「元氣ジョブ」が、ホール賞品として年内に取り扱われることになっている商品を出展した。ブース展示については「一般に開放してはどうか」という意見が多く寄せられたため、来年の開催で検討することになった。

北海道支部は10月7日、札幌市

北海道支部第23回総会

松谷明良支部長を再選

「逆風の中でも、業界で生き抜こう」

の京王プラザホテルで第23回総会を開いた。

冒頭のあいさつで松谷明良支部長は「業界にはいま大変苦しいアゲインストの風が吹いています。お客様の減少、消費税、カジノ問題などいろいろありますが、北海道においては2015年に函館に新幹線が来る、あるいは景気の回復が期待できるなど明るい面もなわけではありません。状況をどう判断するかの違いはあっても、この業界でメシを食っているという認識を大切にして生き抜いていきましょう」と呼びかけた。



松谷支部長(演壇)を再選した北海道支部総会

来賓として出席した庄司孝輝会長は「いろいろな課題も長期的な見方をする事によって変わってきます。例えば依存の問題なども前向きにとらえて、自らの責任としてとらえることによって道が開けます。遊技産業活性化プロジェクトでは、羽根物を中心の構築をめざしています。が、メーカー企業のトップの方たちも明確な危機感を持っています。ホールとメーカーが共同して一緒のイメージを作りあげることが出来ます。また、社会貢献をはじめ業界の姿勢を十分にPRできるようにマスコミとの連携をはかることも大切です」とあいさつした。

任期満了に伴い支部長の選挙が行われ、松谷明良支部長が再選された。松谷支部長は副支部長、役員を選出を行い、副支部長に美山正広、伊豆正則両氏、役員に光金守弘、桜井篤行、松村高の3氏の留任を決め総会です承された。

行政から出席した北海道警察本



祝辞を述べる庄司孝輝会長

て行きなさいよ」と言われ、嬉しかったが困った(鹿児島県指宿市のホール)、「翌日、ホールのお客さんから『きのう公園の掃除してくれたね』とねぎらわれた(佐賀県三養基郡のホール)など、近隣住民から「ありがとう」と言われて感激した感想が九州支部に集まった。

部生活安全全部保安課・渡部泰光課長補佐が「ぼちんこ営業の健全化推進について」と題して講話を行った。第2部では業界コラムニストのPOKKA吉田氏が「業界未来予想図 消費税・カジノ・改正他」について講演した。

第3部として総会後、懇親会が開かれ伊豆正則回胴遊商理事長の祝辞のあと会員、札幌方面遊技事業協同組合朴耕成理事長をはじめ来賓がなごやかに歓談した。

(エトキ) 祝辞を述べる庄司孝輝

ECCO遊技機の合同説明会

価格は25万円以下に

日工組、プリペイドシステム協会(PSA)、電子認証システム協議会(認証協)の3団体は10月28日、日工組会議室でホール関係5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA)に対して、ECCO遊技機とユニットに関する合同説明会を開いた。説明会には8団体の代表者、幹部等計60人が出席した。説明会は、昨年5月にECCO遊技機計画が発表されて以来、ホール側から日工組等に投げかけられた質問への回答の形で進められた。おもなQ&Aは次の通り。

【ECCO遊技機ユニット】

Q…共通部分(枠など)の耐久性は。A…少なくとも3年の稼働に耐えるように考えている。

Q…本体の値段は。A…10万円未満を目標にする。ユニットを足して合計で25万円まで行かないように努力したい。

Q…各台に付く玉磨き装置の交換頻度は。A…交換頻度は6か月。型式試験から外して変更届の範囲とするように考えている。

Q…統一枠(スタンダード枠)の想定寿命は。A…3年程度と考えている。

Q…消費税対策として貸玉の1個単位の設定は可能か。A…可能だ。Q…打止/解放の概念はあるか。A…ある。管理コンピュータで打止玉数や解放の設定が行なえる。

Q…大当たりや特賞状態等の信号内容は統一されるのか。A…ユニットから出される信号は統一される。遊技機からのすべての情報はユニットのみに出している。

Q…ROM交換等のゴト事案が発

生した場合の対策は。A…遊技機に搭載するCPUは暗号化された通信を行ない、ROM交換等のゴトは困難となっている。遊技機とカードユニットの認証機能によって相互チェックが行なわれ、不正改造などがあれば遊技不能となる。

【ユニットユニット】

Q…現行機とECCO機の相違点は。A…セキュリティの強化が特徴だ。遊技機・ユニット間のインターフェイスに高度なセキュリティ仕様を採用している。全ユニットには共通のセキュリティ基板(一種のブラックボックス)が搭載されている。遊技機の稼働情報等はセキュリティ性の高いインターフェイスとの通信に一本化される。

Q…現在使用中のCRユニットは使用可能か。A…インターフェースがまったく違うので使えない。改造して使うとしても、ROM交換等のレベルでは対応出来ない。

Q…併設時のシステム使用料は。A…データの量、各社の考え方など差はあるが、PSAの場合はいくなくとも現行の使用料と大差なくなるように頑張る。

Q…ホール側が、カード会社デー

タセンターまたは遊技機総合管理センターが上がった情報(通信した情報)を確認出来るか。A…データセンターを介して遊技機総合管理センターに上げる情報はセキュリティ関連、設置関連の情報なので、ホールからの確認は不要と認識している。

ゴト対策4団体会議

ゴト進化に警戒強化
動画でも実態を研究

ゴト対策に関する4団体会議は10月2日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協の4団体のほか全商協、回胴遊商のオブザーバーら54人が参加した。

日工組からの報告では、最近「玉がかりゴト」が非常に多く、ホールは警戒を強めてほしいと要請した。全日遊連からゴトに関する投稿の報告があり、日電協はクレジット上げなどの新しい機種へのゴト事例を紹介した。全日遊連、日遊協からゴトと内部不正の実態を克明に記録した動画も上映され、これら現状への対策についてホールとメーカー双方から突っ込んだ議論が交わされた。



日工組、PSA、認証協のメンバーがECCO遊技機について説明した



(財)日本盲導犬協会への活動支援のため、第5回日遊協親睦チャリティゴルフコンペ(大会会長・庄司孝輝会長、実行委員長・西村拓郎 東京都・関東支部長)が10月25日、茨城県阿見町、阿見ゴルフクラブで開かれた。コンペには日遊協会員企業の関係者に、青松英和全日遊連理事長、中村昌勇全商協会会長ら、ホール、メーカー、販社など関連団体の役員・組合員を加えた計139人が参加し、熱戦を繰り広げた。

折から台風27、28号が相次いで日本列島に接近しつづつあったため、こぬか雨、時々晴れ間、時々驟雨といった生憎の空模様だったが、心配された強風はほとんど吹かず、順調に大会を終えた。

終了後の懇親会で、集まったチャリティ募金46万1000円が庄司会長から井上幸彦日本盲導犬協会理事長へ手渡された。井上理事長は「皆様のお気持ち大切に、浄財は視聴覚障害者の自立、社会参加に役立てます」とお礼の言葉を述べた。その後、日本盲導犬協会から日遊協への感謝状が、井上理事長から庄司会長に手渡された。授与式には盲導犬1頭が代

日遊協チャリティゴルフコンペへ 46万円を盲導犬協会へ 139人が参加し熱戦

盲導犬も登場し「感謝状」



賑やかにコンペの懇親会が進行した

募集中

日遊協は11月1日から来年2月末にかけて「第4回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の作品を募集しています
対象は一般の方たち、業界の方たちを問いません
周りのお知り合いにも、是非参加を呼びかけてください

テーマ	「パチンコ・パチスロ 私の遊び方」「パチンコ・パチスロに思うこと」		
	●エッセー・絵手紙とも、2つのテーマから自由を選んでください		
	●エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください		
	●絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください		
	●住所・氏名・年齢・職業・電話番号(携帯も可)・パチンコ・パチスロ経験の有無(ある場合はおおよその年数も)を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください		
募集期間	2013年11月1日(金)～2014年2月28日(金)※消印有効		
発表	2014年6月5日(木)日遊協ホームページ http://www.nichiyukyo.or.jp		
賞品	エッセー	最優秀賞	旅行券 30万円分 1人
		優秀賞	旅行券 10万円分 2人
絵手紙		佳作	商品券 1万円分 10人
		最優秀賞	旅行券 15万円分 1人
		優秀賞	旅行券 5万円分 2人
		佳作	商品券 1万円分 10人

備考 入賞作品の著作権は、(財)日本遊技関連事業協会に帰属するものとします
応募先及びお問い合わせ先 E-mail:bosyu@nichiyukyo.or.jp
社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局
〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15ヒューリック八丁堀ビル2F
TEL:03-3553-4333 FAX:03-3553-4334
(応募された個人情報については、個人情報に関して適用される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません)

主催 社団法人日本遊技関連事業協会
協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合
日本電動式遊技機工業協同組合・全国遊技機商業協同組合連合会
回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

第4回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール

表して参加し、行儀良く一部始終を見つめていた。

コンペの優勝は深澤正則氏(グロリー(株))、準優勝は白石光男氏(株スリーストン)だった。

ゴト監視強化を要請

ジャグラーなど7機種

(株)北電子は10月4日、同社の回胴式遊技機にクレマンゴトの恐れがある事例を確認したとして、日遊協などホール関係団体に対しホールでの監視強化を図るよう要請

対象の型式は、ハッピージャグラーV8、クリエーターMKII30、マイジャグラー、テンションブラスター2、アイムジャグラーAPEXVI、ハグレグモA5、ミラクルジャグラーKの7種。監視の注意点として、①返却ボタンに手をかざしていないか(器具の挿入、取り外しの際に返却ボタンを操作する)②セレクター関連のエラーが発生(「Co」エラーまたは「CC」エラー)——の2点を挙げている。

ホール5団体消費税対応W

旧機種での対応困難

PSAと認証協が状況報告

ホール5団体消費税対応ワーキングが10月15日、全日遊連会議室で開かれた。全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSAのホール関係5団体の代表者・幹部が出席、消費税対応の課題、対策等を協議した。

この日は、ユニット関連団体の

PSA（一般社団法人プリペイドシステム協会）、認証協（一般社団法人電子認証システム協議会）を招き、両団体の貸玉／貸メダルシステムの消費税対応について意見を交換した。

PSAは外税方式を選択した場合の問題点として、「貸玉料金に関して細かい引き落とし数字の設定が出来ない機種があり、第1段階としてそのプログラム変更を行う必要がある」と述べた。さらに、10年以上前の機種が50万〜60万台残っていてそれらは対応不可能、10年以内の機種であっても一部はプログラム変更が無理で、結局市場の半分ぐらいの機種は買い換え

ないと対応できないのではないかと指摘した。

認証協は、独自の売上管理システム「iクリアシステム」について、「このシステムでは消費税率が設定された場合に設備追加や改修を行わず、玉等の個数調整で外税化に対応できる」と述べた。

表示方法で提案、協議へ

ホール5団体消費税対応ワーキングは10月28日、日工組会議室で開かれ、前回（10月15日）の協議を受けて遊技料金の表示方法を協議した。PCSA、同友会から表示例が提案された。お客様が分かりやすい表示方法を早急に複数まとめ、警察庁の指導を仰ぐことになった。

10月1日に施行された風営法等の解釈運用基準の改正では、賞品の提供方法に関する基準の中で、「遊技球等と賞品の交換は、玉1個またはメダル1枚の遊技料金に消費税額を加えた金額に遊技客が

獲得した遊技球等の数量を乗じた額と等価の物品との交換」、つまり賞品の提供価格には消費税分が含まれるとしている。

貯玉補償基金理事会

「補償実施確認」を承認

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋日遊協相談役）は10月16日、日遊協本部会議室で第51回理事会を開き4議案を審議した。

「株式会社つばめエージェンシ

不正対策室会議

「不正対策室案」詰めるPSIO要綱の改訂

不正対策室会議（室長・伊東慎吾 日遊協常務理事）は10月23日、日遊協本部会議室で委員など15人が出席して開かれ、機能的に運用するために進めている不正対策情報機構（PSIO）要綱の改訂について協議した。

前回の会議で修正し作成された「不正対策室案」を構成7団体がさらにチェックを行い、いくつかの項目を補強した。この成案を各

団体で最終的に確認し、次回会議（11月18日）で了承されれば、11月

1「株式会社ニラク」「村下産業株式会社」の補償実施中間結果の確認（それぞれ第1〜第3号議案）について審議し承認した。第4号議案として2014年版ポスター案作成について審議し、デザイン・発行部数などについて承認した。

報告事項として「貯玉補償基金加盟状況」「資金運用状況及び資金運用継続」「東日本大震災状況」「平成25年度中間決算」「基金ホームページへのリンク先追加」などについて説明が行われた。

26日のセキュリティー対策委員会に提案することになる。

PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。9月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）

は、業界から30件、一般ファンから602件の入力があった。一般ファンの入力は、昨年9月と比べると304件（昨年9月298件）増えている。

セキュリティ対策委員会

ゴト・不正対策に工夫 新「封印シール」日電協が説明

第73回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は10月1日、日遊協本部会議室で開かれた。

日電協の新しい主基板封印シールが紹介された。セキュリティ側面では、コピー防止機能として従来のホログラムが日電協オリジナルホログラムに変更された上、マイクロ文字、彩紋印刷、隠し絵柄等が新たに採用されている。また、溶剤剥離対策として新しい溶剤反応インク（石油系とエタノール系）が使われ、溶剤剥がしの痕跡を強化する。新しいシールは来年1月1日以降に採用される。

機歴管理の課題整理

4月末からスタートした日工組



廃棄データ収集の問題点等が報告されたセキュリティ対策委員会

の新しい機歴管理システムに関連し、最終の廃棄データの収集についてリサイクル推進委員会ワーキンググループ(WG)で話し合っている問題点が報告された。現在、リサイクル選定業者38社に限れば、日工組の広域回収システムまたは遊技機リサイクル協会ルートの処理会社が計17社、特定メーカーとの契約が1社、フリーが9社、昨年度実績ゼロが11社となっている。

日工組の広域回収システムと遊技機リサイクル協会等のルートからは廃棄データの収集が可能となっているが、それ以外の処理会社にとっては、メーカーごとに仕様が違うのでメーカーに報告するときには時間と手間がかかり、費用対効果の関係もあってデータ収集のネックになっているという。WGではデータの均一化について方策を探っていくことになっている。

日遊協から、東京都・関東支部にセキュリティ対策部会が11月20日に新設されることが報告された。定期的が集まって情報交換を

「日遊協」で検索!

行うほか、クレーマーなど店内で起きる様々なトラブル対応のための勉強会を目指している。

店長・管理職能力開発講習・試験 来年2月名古屋で

日遊協は、来年2月に名古屋市で行う店長・管理職能力開発講習・試験の受講・受験希望者を募集している。

店長・管理職能力開発講習・試験は、ホールの店長や店長候補者、メーカー、設備機器等の管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行っている。日遊協会員以外の企業からの受講・受験

も歓迎する。

●2014年2月26日(水)

名古屋市中区栄三丁目オフィスビル

午前10時開始、午後5時半終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

日遊協ホームページ

<http://www.nichiyukyo.or.jp/>

日遊協事務局

電話 03-35553-4333(代)

FAX 03-35553-4333